

(様式第1-1号)

農業経営改善計画認定申請書

夫婦、親子などが共同で申請する場合には、申請者欄の「個人・法人名」欄に全員の氏名、フリガナ、生年月日を記載
※新規参入する法人(参入に合わせて定款を変更)である場合は、参入した時点ではなく、法人の当初の設立年月日を記載

〇〇町長 殿	住所	福島県〇〇郡〇〇町〇〇字〇〇番地〇	連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
〇 福島県	氏名	フクシマ タロウ	フリガナ	
東北農	代表者氏名(法人のみ)	福島 太郎		※法人のみ記載してください。
農林水	生年月日	昭和〇〇年 〇〇月 〇〇日	法人番号	

「単一経営」・・・農産物販売金額1位の作物の販売金額が、農産物総販売額の80%以上を占める経営
「複合経営」・・・80%に満たない経営
「工芸農作物」・・・さとうきび、たばこ、茶、てんさい、こんにゃくいも、なたね、いぐさ、ホップ、ごま 等
「その他の作物」・・・芝、種苗、栽培きのこ類、牧草等の販売を含む
「その他の畜産」・・・馬を肥育しての販売、やぎ、うさぎ、ミツバチの飼養等の販売を含む
※✓は1ヶ所のみとする。

農業経営基

項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画

① 農業経営体の営農活動の現状及び目標

(1) 営農類型

現 状	目 標 (令和〇年)
☒ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()	☒ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()
主たる従事者の年間所得の平均を記載 「年間所得÷主たる従事者の人数」の値を記載	申請日の5年後(暦年)

現状と目標で人数が異なる際、現状が1人、目標2人の場合は、「現状1人 目標2人」と記載

現 状	目 標 (令和〇年)	現 状	目 標 (令和〇年)	主たる従事者の人数
年間所得 968万円	1,677万円	年間労働時間 4,000時間	3,800時間	2人
主たる従事者1人 当たりの年間所得 484万円	838.5万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間 2,000時間	主たる従事者の合計時間を記載	

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産

作目・部門名 (耕 種)	現 状		目 標 (令和〇年)		作目・部門名 (畜 産)	現 状		目 標 (令和〇年)		関連・附帯事業 (売上げ)		
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数	生産量	飼養頭数	生産量	事 業 内 容	現 状	目 標 (令和〇年)
水稻(主食用米)	2,000	110,000kg	2,500	137,500kg						作業受託(収穫・乾燥調製)	374万円	374万円
水稻(飼料用米)	800	55,200kg	1,000	69,000kg							万円	万円
											万円	万円
											万円	万円

生産量の単位は作目・部門に応じて単位を記載

特定農作業受委託を行っている場合は、その面積を分けて記載

主たる従事者の年間労働時間の平均を記載
「年間労働時間÷主たる従事者の人数」の値を記載

(3) 農用地及び農業生産施設																
ア 農用地						イ 農業生産施設										
区 分	所在地		地目	現 状 (a)	目 標	所在地	規 模									
	都道府県名	市町村名					市町村名	現 状	目 標 (令和〇年)							
所有地	福島県	〇〇町	田	500	自己保全中の農地なども含めて記載 (現在耕作している面積以外の農地も含める。) ※正式な賃借契約を行っていない農地が含まれる場合、 確約書を添付	〇〇町	棟	m ²	棟	m ²						
	福島県	〇〇市	田	1,000			1,000	2	500	2	500					
借入地	福島県	〇〇町	田	1,300	2,000											
その他	目標達成のため、制度資金や補助事業等で5年以内に新規購入や更新等を検討している場合には、「(別紙)生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画」欄に機械・施設名の型式等を記載				特定農作業受委託により受託する農地の面積のみを記載 なお、特定農作業受委託を実施している場合は、「特定農作業受委託契約書」の写しの添付が必要											
経 営 面 積 合 計					3,500	経 営 面 積 合 計					2	500	2	500		
③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置										
【現状】 ・ほ場が点在しており、作業効率が悪い。 【目標】 ・農地集積による規模拡大と作業の効率化を図る。 【措置】 ・農地中間管理機構を利用した規模拡大及び農地の集積を行うとともに、機械の更新を行うことで作業効率を上げる。						【現状】 ・簡易記帳による青色申告。 【目標】 ・複式簿記による青色申告。 【措置】 ・研修会等へ参加し複式簿記を習得する。						簿記記帳等の会計処理、経営内 役割分担、経営の法人化等につ いて記載				
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置										
【現状】 ・不定休で特に休日を設けていない。 【目標】 ・作業体系の見直しを行うとともに定期的に休日を取得する。 【措置】 ・臨時雇用を活用し、労働負担の軽減を図る。						【現状】 ・機械整備の老朽化。 【目標】 ・計画的に機械の更新・増設を行う。 【措置】 ・令和〇年〇月に制度資金（農業近代化資金）の活用を活用を実施する。予定借入額は〇〇 〇〇千円。						農業改良資金等の制度資金の融資を受けることを計画している 場合には、予定年度、予定資金、予定借入額等を記載				
(参考) 経営の構成						(2) 雇 用 者										
(1) 構成員・役員																
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年齢	性別	代表者との続 柄(法人経営 にあっては役 職)	現 状			見 通 し (令和〇年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	0 人	見 通 し	0 人	
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間							臨時雇 (年間)
福島 太郎	38	男	(代表者)	農作業全般	○	2,000	農作業全般	○	1,900			延べ人数	現 状	60 人	見 通 し	120 人
福島 花子	35	女	妻	農作業全般	○	2,000	農作業全般	○	1,900							
福島 吉郎	62	男	父	作業補助		640	作業補助		600							
福島 幸子	60	女	母	作業補助		640	作業補助		600							

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
コンバイン（更新）5条 Ops	1台
乾燥機（更新）45石	1台
目標年(5年後)までの間に新設、更新する主要な農業機械があれば記載し、能力も記載する。	

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)

別添資料

1 申請者名

福島 太郎

2 農業経営改善計画認定申請に係る新規更新の別

新規 ・ 変更 ・ 更新

(該当する区分に○を付ける)

3 変更・更新時の認定期間

現在所有している機械類について記載

4 生産方式の合理化に係る農業用機械の現状(農業生産施設に記載しているものは除く)

[illegible]

別添資料

5

経営規模の現状と目標							※参考							
作物・部門名	現状			目標			単収(kgまたは本/10a)		販売単価等(円/kg)		事業外収益		所得率	
	作付面積(a) 飼養頭数(頭)	生産量 (Kgまたは本)	販売金額(千円)	作付面積(a) 飼養頭数(頭)	生産量 (kg)	販売金額(千円)	現状	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標
			所得額(千円)			所得額(千円)								
もも	50	8,000	4,800	60	11,000	6,600	1,600	1,833	600	600			50%	50%
			2,400			3,300								
りんご	50	9,000	1,800	60	12,000	2,400	1,800	2,000	200	200			50%	50%
			900			1,200								
おうとう	10	500	2,000	20	1,000	4,000	500	500	4000	4000			50%	50%
			1,000			2,000								

6 添付資料(法人に限る)
定款、規約、役員名簿、直近1カ年の財務諸表 等